

# 愛知県矢作川支流、籠川兩岸の樹木伐採工事に伴う生息鳥類の変化調査

調査者: あつみみほ  
瀝美保

## 1. 背景

- 豊田市の一級河川である、籠川の上原橋から東梅坪橋区間（図1、約1.2キロ）の川岸で、2009年から野鳥を観察。2019年10月現在、61種類を確認。
- 2019年11月から翌年3月中旬に、この区間で洪水対策のための樹木の伐採と川幅の拡張工事が行われることになり、生息鳥類への影響が不可避と予想される。

## 2. 調査期間と頻度

2020年3月からの1年間、毎月10回の頻度で該当区間の籠川兩岸を調査。

## 3. 調査方法

- ①工事前: 2018年3月～19年10月の野鳥遭遇頻度を月ごとに10段階で表現。
- ②工事後: 毎月10回の観察を実施し、①同様10段階で表現し比較（図3）。



A.  
アオジ、アカゲラ、アリスイ、  
ウグイス、エナガ、オオジュリン、  
オオヨシキリ、カシラダカ、  
カッコウ、カワラヒワ、キジ、  
キジバト、コゲラ、コジュケイ、  
コムクドリ、シジュウカラ、シメ、  
ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、  
セッカ、ツグミ、ツバメ、ドバト、  
ハシブトガラス、ハシボソガラス、  
ヒバリ、ヒヨドリ、ビンズイ、  
ベニマシコ、ホオジロ、ムクドリ、  
メジロ、モズ、オオタカ、  
チョウゲンボウ、トビ、ノスリ

B.  
アオサギ、イソシギ、  
カイツブリ、カルガモ、  
カワウ、カワセミ、  
キセキレイ、クサシギ、  
コガモ、コサギ、ササゴイ、  
セグロセキレイ、ダイサギ、  
タシギ、ハクセキレイ、バン

D.  
アマサギ、  
イカル、ケリ、  
コチドリ、  
コヨシキリ、  
ノビタキ

C. イソヒヨドリ

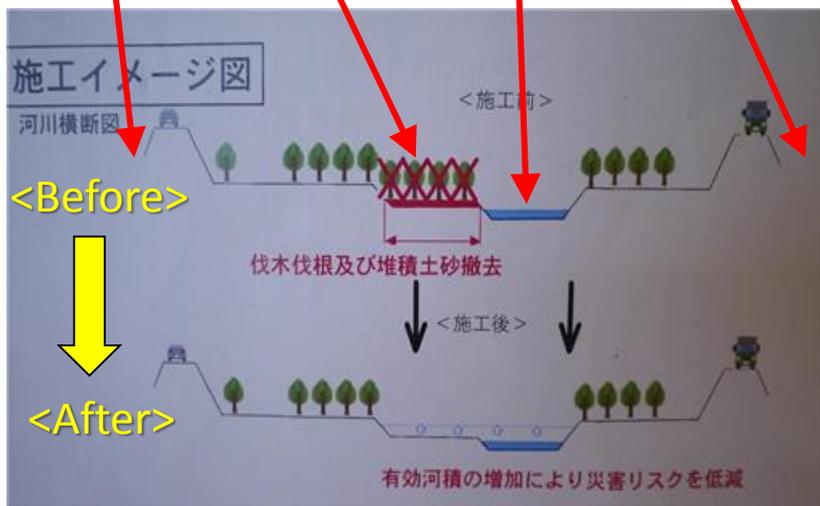
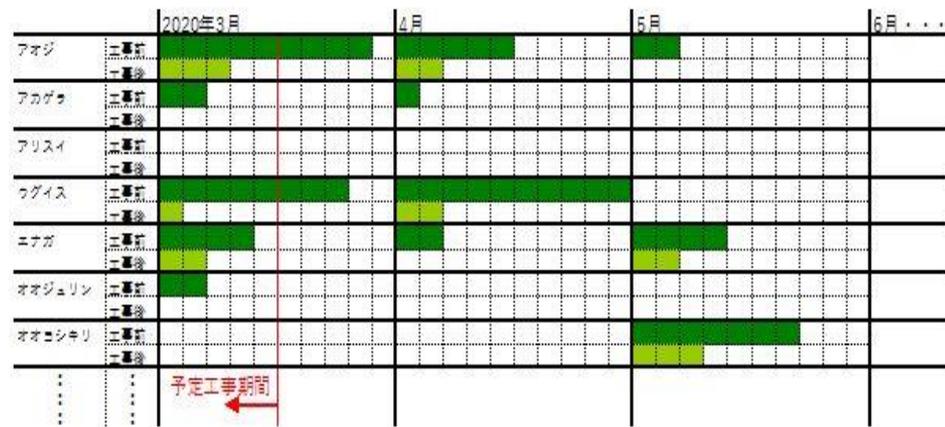


図2 当局による施工イメージ図と調査者が過去10年間に観察した野鳥生息場所の対応図



再び会えることを願って…

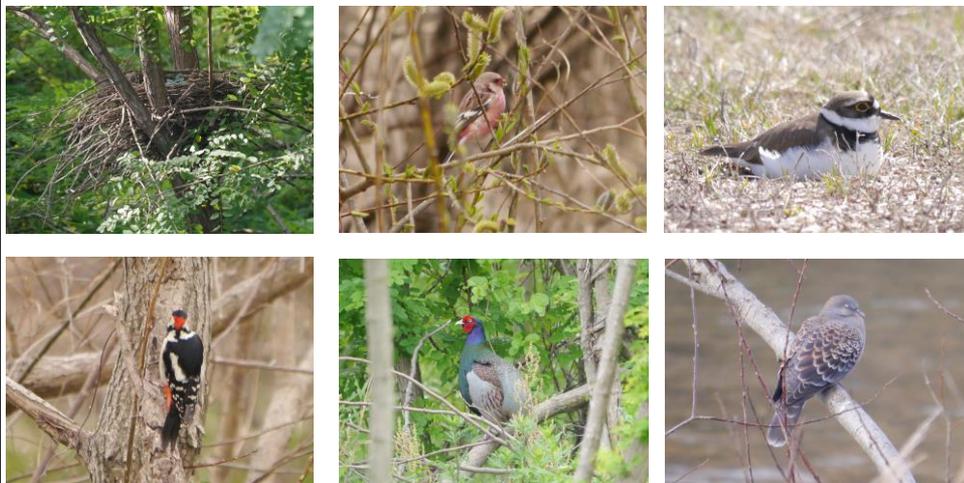


図3 比較結果イメージ